経営理念

全社一体となって、
科学的合理主義と人道主義に基づく
創造的な進歩と発展を図り、
社業の発展を通じて社会に貢献する。

鹿島は、1840年（天保11年）の創業から現在に至るまで、
人々が安全・安心で快適に暮らすことができる社会をめざし、
建設事業を通じて産業・経済の発展に貢献してまいりました。
それは、鹿島の苦闘と改革、発展の歴史でもあります。

業界の先頭を切って新たな領域に挑戦してきた
経営者や社員の中に脈々と流れる
積極果敢な「進取の精神」こそが発展の礎です。
鹿島は、常に時代の動きを鋭敏に捉え、進歩と発展に努力してまいりました。

これからもこのよき伝統を受け継ぎ、この経営理念のもと、
真に快適な環境創造の担い手として
社会の要請にこたえられるよう研鑽を積み、
社会に貢献できる企業として歩んでまいります。

ビジョン

ビジョンステートメント

人の思いと技術を受け継ぎ
想像と感動をかたちにするために
新しい発想で挑戦しつづける

大切にしたい価値観

開放性
事業創出やR&Dに必要なリソースや刺激を外部に求め、変化への適応力がある

多様性
多様な人材や働き方を重視し、尖った発想や異なる価値観を認め合う受容力がある

主体性
イニシアチブを発揮し、新たな価値領域への仕掛けをまとめ上げる構想力がある

企業風土
- 誠実さ
- たゆまぬ技術革新
- 鹿島品質へのこだわり

ビジョンステートメントには、「過去に対する敬意」と「未来への挑戦」という
2つの意が込められています。

社員・顧客・社会・職人への思い、つながり、信頼、
技術立社として培った伝統ある技術を新たな価値創造の源泉として、次代に受け継ぐ。
持続的成長を期すために、新しい発想で絶えず自己研鑽し、
“想像と感動をかたちにする”というワクワク感と期待感を
世の中に提供する意思を持ち続けることを表しています。

ビジョンの実現に向けて、鹿島グループの求める重要な特性として、
大切にしたい価値観を特定し、人材育成や組織づくりを通じて、
長期的な企業価値向上に挑んでいます。